

明治初期の岡垣の物産③

岡垣歴史文化研究会 石田 健次

今回は、明治初期における岡垣西部地区の各村の物産を見ていくこととする。

主要農産物である米、麦、大豆、小豆、豌豆、蕎麦は全ての村で栽培されていた。主要作物以外の各村の物産は次のとおりである。

(村名の後の括弧は、農産物の数と出荷の品目数及び販売総計額である。丸数字は出荷販売額の多い物産の順である。)

●波津村(13・14 891円75銭)
岡垣で唯一の漁港がある村であ



▲粟(太陽コレクション10(平凡社刊)から援用)

る。麦の生産は岡垣で一番多く、琉球芋は糠塚村の次に多かった。出荷販売は海産物が主であった。

農産物は、唐豆、粟、琉球芋、里芋、紫苔、鶏卵があった。また、里芋、鶏卵、榎実、楮皮、鮎、干鰯、鯨、鯨、鯛、蛤、大貝、萱苔、海羅、石花を出荷していた。

①干鰯②鯨③榎実④鯨⑤鯛
●原村(23・6 305円7銭)

主な出荷品目は酒、菜種であった。農産物は、唐豆、粟、琉球芋、里芋、大根、牛蒡、蜜柑、梨子、柿、綿、煙草、茶、鶏卵、蜂

家鴨、家鴨卵、蜂蜜があった。また、大豆、煙草、鶏卵、菜種、楮皮、薪、酒を出荷していた。

①酒②菜種③大豆④煙草⑤楮皮
●内浦村(21・15 646円31銭)

榎実から抽出した生蠟の出荷は岡

垣で一番多かった。煙草は、内浦村のものが良質であると江戸時代に編纂された「筑前国統風土記」に書かれている。農産物は、唐豆、粟、琉球芋、牛蒡、大根、里芋、筍、綿、茶、煙草、蜜柑、梨子、柿、鶏卵があった。また、牛蒡、筍、煙草、鶏卵、菜種、椎、榎実、生

蠟、種油、竹、楮皮、半紙、塵紙、籐箸、薪を出荷していた。

①生蠟②半紙③榎実④塵紙⑤鶏卵
●手野村(26・31 389円75銭)

葛、杉材木の出荷は手野村のみであった。農産物は、唐豆、粟、琉球芋、胡麻、黍、里芋、大根、松露、柑類、梅、梨子、柿、楊梅

綿、茶、煙草、鶏卵、松露があった。また、松露、楮皮、半紙、塵紙、玉葱苗、榎実、菜種、種油、筍、蜂蜜、葛、蛤、松材木、杉材木、薪、竹、酢を出荷していた。

①種油②榎実③鶏卵④楮皮⑤薪
●三吉村(25・24 887円75銭)

酒の販売額が多かった。醤油の出荷は吉木村の次に多かった。農産物は、唐豆、粟、琉球芋、胡麻、黍、里芋、牛蒡、筍、柑類、梅、柿、

綿、茶、煙草、藍、鶏卵、家鴨、家鴨卵があった。また、小豆、牛蒡、筍、柑類、柿、鶏卵、家鴨卵、蜂蜜、楊梅、楮皮、半紙、塵紙、榎実、菜種、松材木、薪、竹、酒、醤油等を出荷していた。

①酒②醤油③松材木④榎実
●吉木村(18・19 3283円25銭)

出荷販売総額は岡垣で一番多く、裕福な村であったことが分かる。特に酒の販売額が突出して多かった。農産物は、胡麻、唐豆、粟、唐黍、綿、煙草、紅花、鶏卵、家鴨、家鴨卵、七嶋表があった。また、小豆、胡麻、煙草、鶏卵、家鴨卵、榎実、菜種、茶、瓦、傘

鉄釘、酒、酢、醤油、種油、生蠟、蠟燭、鬘附等を出荷していた。

①酒②鬘附③生蠟④鉄釘⑤種油
●松原村(12・8 117円50銭)

食用きのこである松露と里芋の出荷は岡垣で一番多かった。農産物は、唐豆、里芋、茄子、綿、鶏卵があった。また、玉葱苗、松露、蛤、松葉、菜種を出荷していた。

①里芋②菜種③松露④蛤⑤松葉